鏡川流域パートナーシップだより　No.217　R7.6.3

新エネルギー・環境政策課では，高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため，鏡川流域の自然と人，人と人との関わりとつながり（鏡川流域パートナーシップ）の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では，鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

鏡川流域
パートナーシップ
KAGAMIGAWA LOCAL AREA PARTNERSHIP

土佐山学舎4年生と一緒に鏡川流域パートナーシップを学ぶ！

５月 30 日（金），**土佐山学舎**４年生の環境学習に，本課職員が講師として参加しました。**鏡川流域関係人口創出事業**や，**高知市の自然環境の課題**についての授業を行いながら，身近な自然環境への関わり方について，一緒に考える機会となりました。

☞クイズを中心に授業を進めました。「この川の名前は？」という問題に，児童の皆さんは**「鏡川！」**と即答！**「知っちゅうで！俺行ったことあるもん！」**など，次々に発言が飛び交います♪

☜中山間地域などの課題である少子高齢化や担い手不足によって人が自然を適切に管理できなくなり，自然環境の荒廃などにつながっているという鏡川流域の現状について，理解を深めていきます。

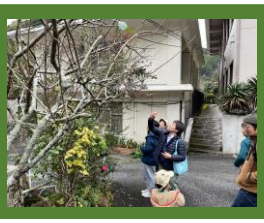
児童の皆さんは，**「土佐山学舎の近くも，この前，大雨が降ったときに水が増えて茶色く濁って怖かった」**と，**身近な自然の恐ろしさ**を伝えてくれました。

☞**鏡川流域の自然に関わっている人**はどんな人か，という質問に，児童の皆さんは**「土佐山学舎の人みんな！」「〇〇ちゃんのお父さん，山で仕事しゆうで」**など，知っている人の姿を思い浮かべて，紹介してくれました。

☜今後，**鏡川流域でやってみたいこと**について聞くと，**「アユ釣りとアメゴ釣り！」「ごみ拾い！」「川で飛び込んでみたい」**など，川でのアウトドアや清掃ボランティアへの関心を示してくれました。ぜひ，鏡川で実践してみてくださいね＾＾

当事業で制作している**水色のトートバッグ**について，ある児童が，**「俺のお母さん，このカバン持っちゅうで。前に，みんなで土佐山を歩いたり写真を撮ったりするイベントに参加したときにもらった」**と声をかけてくれました！おそらく，**鏡川流域関係人口講座３期生**の藤澤さんが主催した企画「**Feel 度 Walk**（フィールドウォーク）」のことだと思います。これまでの取組が現在までつながっていることを感じました！

「Feel 度 Walk の様子（令和５年度）☞



授業の最後に，児童の皆さんからいただいた感想の中で，「自分も鏡川の関係人口だと思うから，もっと自然に関わりたいと思った」という意見がありました。ぜひ今後も一緒に，鏡川流域の自然に関わっていきましょう！

鏡川流域関係人口のつながりを可視化し，循環を促進するために，スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山，川，海，人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー，スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については，こちらをご覧ください。
http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html

「まちのコイン」のインストール

iPhone　Android